

番号	委員名	第二回 ページ	意見	回答
①	藤原 委員	資料 1	資料では令和7年度末で汚水処理人口普及率 100%になるように算定と書いてあるが、同じ資料のグラフでは、令和7年度で 100%になってないがどちらが正しいのか。	合計の少数二桁目が 100%を超えていたため、100%に丸め、目盛りを修正しました。
②	山崎 委員	17～21	今の資料のままでは、実際は負荷量の減少や水質の改善が進んでいるのに、目標値が高すぎたために改善していないように映る。その旨、記載するなど工夫が必要ではないか。	P11 に記載しました。
③	西森 委員	22～23	ずいぶんわかりやすくなったが、22 ページと 23 ページで重複している部分があるので若干の構成の見直しが必要と思う。	P16 にまとめました。
⑤	山崎 委員	—	人のいない所に下水道を広げてゆくのは不経済と思うので、切り替えや、方針としてそうなると思っていますが、数字として出てくるもっとわかりやすいと思う。	高知市生活排水処理構想に公共用下水道、合併浄化槽等のアクションプランで普及状況の計画が示されております。
⑥	須内 委員	20	25ページの水質環境基準の達成状況ですが、ST113, 114 地点は未達成ということで、環境基準は A 類型だが、環境基準点に設定された時から堤防の延伸等で大きく形状が変わり、湾口ではなく湾内となっている。そうすると環境基準は B 類型ではという感じを受けています。環境基準点を変更することは難しいだろうが、そのことをどこかに記載してはどうか。	P43 に記載しました。
⑦	西森 委員	25	30 ページから 31 ページ挙げられている三項目のまとめについて、原因や要因、結果そしてそれに対する目標や取り組みの構成が、それぞれ違う。その結果として、良い事、悪い事が読み取りづらい。構成を統一してわかりやすくすべき。	P31 に見直しました。

番号	委員名	第二回 ページ	意見	回答
⑧	藤原 委員	5	<p>2050年脱炭素の社会構築は政府の方針であり、それに対応する形で高知市でも同様な方針が掲げられている。そういった中で、汚水処理事業における計画で脱炭素の話が入っていないというのは基本的な認識が欠けているのでよくない。課題として未普及の解消、人口減少への対応、環境基準値の継続的な達成に加えて、脱炭素への取り組みを4項目目として入れておくべきと考える。その上で各課題の中にどのような問題が起こるかを述べたうえで、それにどのように取り組むかを書くべき。そうすれば、西森委員の指摘した文章の整合が取れていないというものも解消できるのでは。</p>	P31に課題として取り上げました。
⑨	西森 委員	16～17	<p>33ページ以降に基本方針が書かれてあって、その下の計画目標の中に、水質目標と負荷量削減目標の数字だけでないもう一つの目的になるスローガンが書かれている。どちらが上位なのか、逆でも構わないし、スローガンを基本方針に上げてもいいのではないかと考えている。それに関して34ページの基本方針の中では、33ページにある基本方針とスローガンが合わさった形でしっくりくる文章になっている。わざわざ切り分けたり、上位下位をつけなくて、34ページのようにまとめた方がいいのではないかとと思う。</p> <p>2次計画の成果である浄化槽管理システムについて、3次計画では特段言及されていない。効率的な啓発活動など活用できると思うので、3次計画でも何かしらの位置づけをお願いしたい。</p>	P32から構成を見直しました。

番号	委員名	第一回 ページ	意見	回答
⑩	藤原 委員	—	<p>脱炭素については、つけたしのように取り上げるのではなく、計画でどのように取り組んでいくのか明確な形にするように検討願いたい。</p> <p>河川について、環境基準値の上位類型を全地点で達成としているが、未普及対策が100%進んだとして、可能な目標なのか、また、必要な目標なのか、達成のためにさらなる追加のエネルギーを必要としていないかなど、水質至上主義的な目標にならないように水管理と脱炭素への貢献の両方の観点から検討してほしい。</p>	P37, 38 に記載しました。
⑪	藤原 委員	—	<p>・浄化槽システムを導入して基数の把握ができるようになったことは大きな成果だと思う。これを基に負荷量、水質の議論につなげていくことが重要だと思う。</p>	P38～P50 に示しました。
⑫	山崎 委員	—	<p>・計画の具体案は今後作成されていくと思われませんが、計画目標では達成すべき負荷量、水質、下水道普及率などを数値で示しておく必要があると思われま。</p>	
⑬	藤原 委員	—	<p>・目標として水質のみを設定するとなっているが、目標を達成するために必要な排出負荷量がどれくらいなのかを示す必要があると思われる。また、排出負荷量と水質の関係を解析結果等により示す必要がある。説明できる解析結果等を踏まえた上で、今後の計画に実装していくことが高知市にとって重要であると思われる。</p>	